

団体名		公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団						
①	指標名	健康づくり講座の実施回数			目標値	100回	実績値	170回
	過去の実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成率	170.0%	達成状況	未実施・未達成・ <u>達成</u>
	(単位: 回)	28	39	70				
	取組内容	①コミュニティ協議会等と自主活動グループ立ち上げ支援を目的とした試行事業に取り組み、吉祥寺南町コミュニティ協議会との協力で「介護予防体操」40回、八幡町コミュニティ協議会との協力で「腰痛・肩こり予防講座」16回、健康づくり推進員との協力で「フラエクササイズ」20回実施。 ②市民グループ等に対する出前講座を56回、地域団体との連携・共催講座を22回、はつらつメンバーに対する講座を8回、市内イベントでの講座を4回、だんだん活力アップ体操出前講座を4回実施した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 自主活動グループ立ち上げ支援を目的とした試行事業では、健康づくり推進員、担当講師（健康づくり人材バンク）が積極的に関わった結果、自主活動グループが立ち上がり、継続的な活動を行っている。 今後も、地域団体との連携・共催事業を進める中で市民の継続的な健康づくりを支援していく。						
二次評価	コミュニティ協議会と共催した事業で自主グループの立ち上げ支援を行い、継続的な活動に繋がるという結果を出していることを評価する。引き続き、継続的な健康づくりの支援の取組を推進していただきたい。							
②	指標名	自主事業収入			目標値	80,000千円	実績値	74,773千円
	過去の実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成率	93.5%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位: 千円)	79,926	77,435	76,324				
	取組内容	①人間ドック受診者を増やすため、健康づくり活動情報誌や広報誌などで積極的にPRを行った。 ②はつらつメンバーのポイントに「人間ドック、健康診断の受診」の項目を入れるなど、健診の重要性を伝えるよう努めた。 ③健診事業の代行業者との契約を拡大した。						
	一次評価	人間ドックの受診者の前年比32人増加、事業所健診受診者の増加により、自主事業収入の内の健診事業収入は、前年より140万円増加したが、市特定健診に胃がんハイリスク検査（ABC検査）が導入された影響で、医療機関からの上部消化管X線検査の依頼検査が減少したために、自主事業収入全体では前年を下回り、目標を達成できなかった。						
二次評価	自主事業収入全体では前年を下回ったものの、人間ドック受診者や事業所健診受診者は増加している。今後も目標達成のために、受診者の増加に努めていただきたい。							
③	指標名	研修への参加者の割合			目標値	100%を維持する	実績値	95.7%
	過去の実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成率	95.7%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位: %)	65.2	100.0	100.0				
	取組内容	①全体会等をとおして、各職員が積極的、自発的に研修参加を希望するよう促し、職員（嘱託職員含む）23人中22人が一つ以上の研修・講座に参加した。人間ドックアドバイザーブラッシュアップ研修やピンクリボンアドバイザー認定など、健診施設の機能を高める研修の参加を促した。 ②計画的に進めていた上級救命救急講習は、全職員の受講が完了した。 ③研修以外にも、市の在宅医療・介護連携推進協議会、介護予防事業連絡調整会議、子育てひろばネットワーク会議、ケアリンク武蔵野2015実行委員会等、市の各種会議や関連団体との合同研修等に積極的に参加した。						
	一次評価	目標は未達成となったが、業務に関連した研修や専門性を高める研修に積極的に参加している。勤務では研修に参加しなかった職員も、時間外に自費で専門分野に関して自己啓発に取り組んでいる。						
二次評価	目標は未達成となったが、昨年に引き続き高い意識で研修に参加していることを評価する。研修以外にも市や関連団体との会議や研修等に参加することにより、市と連携した事業展開にも期待する。							